

# 行政の窓

## 平成25年度北海道木材需給見通しについて

平成25年度北海道木材需給見通しをまとめたのでお知らせします。今回公表した需給量より、輸入合板分を平成19年度実績以降に、林地未利用材分を平成23年度実績以降に算入しましたので、「平成23年度北海道木材需給実績」で公表した需給量、道産材供給率の数値より増加しています。

（「平成23年度北海道木材需給実績」「北海道木材需給平成24年度見込み・平成25年度見通し」は当課ホームページにて公表しています。<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/research.htm>）

### 1. 需要

24年度の総需要量は、紙需要やカラマツ梱包材需要の減少、合板の減産などの影響により、23年度比3%減（25万 $m^3$ ）の710万 $m^3$ となる見込みです。25年度は、住宅着工戸数の増加による針葉樹製材等の需要が増加する一方、パルプの需要が減少すると予想されることから、全体としては24年度並みの713万 $m^3$ となる見通しです。

なお、道内における木材総需要量に占めるパルプ材の割合は、23年度実績で51.0%であり、全国の44.1%に比べて高くなっていました。（全国数値は、林野庁公表「平成23年木材需給表（用材部門）」総需要量に占めるパルプ・チップ用材構成比による。）

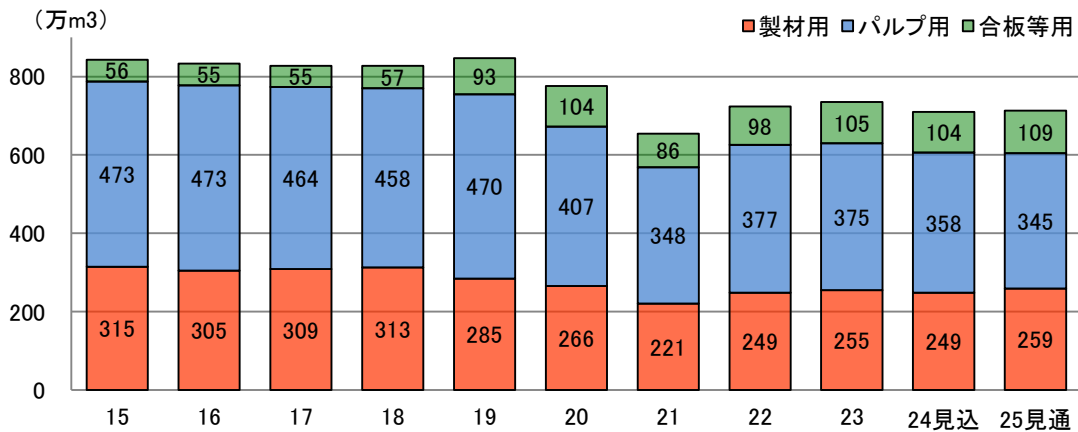


図1 需要量の動向

### 2. 供給

24年度の総供給量は、輸入製材の供給が増加するものの、パルプ用や合板等用の供給量が全般的に減少すると予想されることから、23年度比3%減（25万 $m^3$ ）の710万 $m^3$ となる見込みです。25年度は、製材等原木などの道産材供給が増加する一方で輸入材及び輸入チップの供給が減少すると予想されることから全体としては24年度並みの713万 $m^3$ となる見通しです。

道産材供給率は、24年度は供給量全体が減少する中でも、輸入チップの供給が大幅に減少すると予想されることから、23年度比1.6ポイント増の57.1%となる見込みで、25年度は輸入材及び輸入チップの供給が減少する一方、道産材供給が増加すると予想されることから、24年度より1.8ポイント増の57.1%となる見通しです。

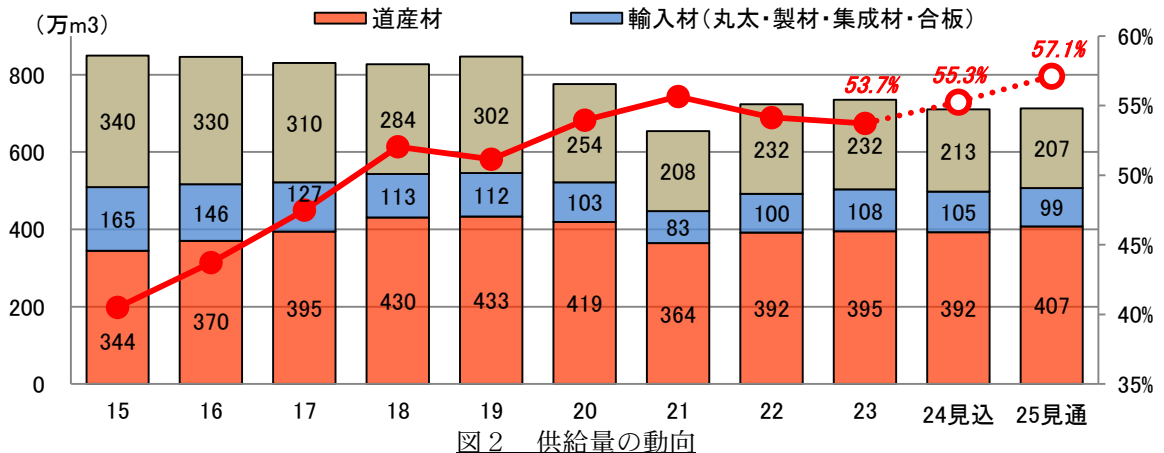


図2 供給量の動向

※掲載数値は、原木消費量または原木換算値です。

（水産林務部林務局林業木材課林業木材グループ）